

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 24/6/2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 講師
氏名 Name	福田 義昭
専門分野 Academic Field	アラビア語・アラブ文学

平成 28 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	(1) 近代エジプト文学における空間表象と世界観 (2) 戦前・戦中期の在日ムスリム・コミュニティ				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan （Approximately 100 Words） 昨年度に引き続き、主として以下の二分野の研究を行う。 1）近代以降、アラブ地域には多数の国民国家が誕生した。それらの国々の文学は、「アラブ文学」という大きな枠組みを共有しつつ、同時に各国の国民文学としてそれぞれ独自の機能をも果たしてきた。そこでは、世界／イスラーム世界／中東／アラブ世界／各国家（地域）というように何重もの空間的境界が意識され、そのなかでアイデンティティの探求がなされている。こうした探求の特質は、各国家（地域）によってさまざまに異なるが、ここでは特にエジプトを対象に、近代文学のなかでそうした空間的領域がどのように観念されてきたかを研究する（関連：科研費〔基盤研究B〕「現代中東における「ワタン（祖国）」の心性をめぐる表象文化の発展的研究」〔代表：岡真理・京都大学教授〕）。 2）これまで神戸を中心に、昭和戦前期の日本におけるムスリム・コミュニティの形成、モスクの建設、戦中期のコミュニティの活動などに関する論文を発表してきたが、本年度は（昨年度に引き続き）、日本語による文学作品等を取り上げ、外国人ムスリムに対するホスト社会の視線がいかなるものであったかを分析する。昨年は東京や朝鮮を舞台とした作品を研究したが、今年は主として神戸を舞台とする作品を取りあげて論文を執筆する予定である。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	文学一般 アラブ文学	言語学 アラビア語	外国語教育 アラビア語	地域研究 アラブ世界	地域研究 イスラーム
キーワード Keywords*2	アラビア語	アラブ文学	近代エジプト	近代アラブ世界	在日ムスリム